

建議(案)の構成〔Ⅲ章と具体的提案との関係〕

※〔 〕内はⅢ章の改革の視点との関係

Ⅳ. 具体的施策の提案

国際競争力の強化

- 国際物流に対応した基幹ネットワークの構築
- 空港・港湾とのアクセス強化
- 物流システムの改善

- 〔2. 4. 〕
- 〔2. 4. 〕
- ①都市内の物流システムの改善〔2. 〕
- ②情報通信技術を活用した物流効率化の支援〔2. 〕
- ③都市間物流システムの改善〔2. 〕

地域の自立と競争力強化

- 渋滞対策をはじめとした交通の快適性・利便性向上
- 経済と暮らしを支えるネットワークの戦略的な整備
- 既存の高速道路ネットワークの効率的な活用・機能強化
- 魅力ある観光地づくりの支援

- ①集中的な渋滞対策の推進〔2. 4. 〕
- ②総合的な交通戦略の展開〔2. 4. 〕
- ③路上工事により生じる道路交通障害の解消〔2. 〕
- ①整備の必要性・優先度の評価を実施〔4. 〕
- ②少ない投資で早期にネットワーク効果を発揮させるための工夫〔2. 4. 〕
- ③生活幹線道路ネットワークの形成〔4. 〕
- ①料金による高速道路ネットワークの有効活用〔2. 〕
- ②スマートインターチェンジの整備等による既存ストックの機能強化〔2. 〕

安全で安心できる暮らしの確保

- 信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 安全・安心な道路空間の形成
- 効率的な道路管理の実施

- 〔2. 3. 〕
- ①道路のネットワークの機能確保に着目した道路防災対策の推進〔1. 4. 〕
- ②冬期の安定した道路交通の確保〔2. 3. 4. 〕
- ③災害発生時の適切な情報提供、早期復旧に向けた取り組みの強化〔1. 〕
- ④災害に対して脆弱な密集市街地の解消〔4. 〕
- ①幹線道路における効果的、効率的な交通事故対策の実施〔4. 〕
- ②地域の合意形成に基づく身近な道路における交通事故対策の実施〔2. 〕
- ③通学路等の人優先の安全・安心な歩行空間の確保〔2. 〕
- ④安全な自転車走行空間の確保〔2. 〕
- ⑤迅速な踏切対策の実施〔4. 〕
- ⑥情報通信技術の活用による交通事故対策の更なる推進〔2. 〕
- ①道路網の計画的な管理と予防保全の推進〔1. 4. 〕
- ②地方自治体による道路管理での予防保全への転換・支援〔1. 〕
- ③高速道路の予防保全の推進〔1. 〕
- ④道路の維持管理分野の技術開発の推進〔1. 4. 〕

豊かな生活環境の創造

- 地球環境保全への積極的な貢献
- 沿道環境の保全・創造
- 地域の空間形成

- 〔2. 4. 〕
- 〔2. 4. 〕
- ①バリアフリー化の推進〔2. 3. 〕
- ②効率的な無電柱化の推進〔3. 〕
- ③地域の空間としての道路景観の向上〔3. 〕
- ④「道の駅」のサービス充実と機能の多様化〔3. 〕
- ⑤道路整備にあわせた生活環境の整備〔3. 4. 〕
- ⑥快適な都市空間の形成に向けた既成市街地の再構築〔2. 3. 〕

Ⅴ. 道路行政の進め方についての具体的提案

早期の事業効果発現のための環境整備と評価の充実

- 選択と集中による効果的な事業執行
- 供用目標の公表と事業マネジメントの強化
- 事業のスピードアップのための用地取得等の条件整備
- 評価システムの改善と充実

- 〔4. 〕
- 〔4. 〕
- 〔4. 〕
- 〔4. 〕

ユーザーの視点に立った課題やニーズの把握

- 地域とのコミュニケーションを通じた課題の共有化
- 身近なニーズへの対応

- 〔4. 〕
- 〔4. 〕

多様な主体のパートナーシップによる行政運営

- 多様な主体の連携と協働
- 市民参画による道路網計画の作成

- 〔3. 〕
- 〔4. 〕

コストの徹底的な縮減と新技術の活用

- より一層のコスト縮減と品質の確保
- 技術開発の積極的な推進
- ITS技術の更なる進展

- 〔4. 〕
- 〔1. 2. 4. 〕
- 〔2. 〕

新たな道路行政にふさわしい道路法制の検討

- 〔2. 3. 〕